



凜然と

本校の教育目標

未来を見つめ、より高さを志向する生徒

- 一、賢く 創造力豊かな生徒を育てる
- 一、豊かに 豊かな心を持ち、感動できる生徒を育てる
- 一、強く 自ら考え、正しく実行できる生徒を育てる
- 一、逞しく 身体をきたえ、逞しく成長する生徒を育てる

今年度の重点教育目標

志を高く掲げ、忍耐強く未来を切り拓く生徒の育成
～よりよい社会と幸福な人生の創り手となる力の育成～

前期課程の終わりにあたって

校長 堀田 裕之

4月に176人の新入生を迎えてスタートした令和4年度も、前期課程が終了となりました。この間、保護者並びに地域の皆様には、本校の教育活動へのご理解やご協力をいただきましたことに、深く感謝申し上げます。

さて、この前期では、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、徐々にこれまで制限してきた活動を再開してきました。5月末には3年ぶりに、全学年による体育祭を開催、6月の「フチボラ」では、有志の生徒100名以上が集まって校舎内外の花壇整備を行うほか、中体連・中文連でも日頃の練習の成果を発揮し、3年ぶりに開会式から行われた文化祭は、残念ながら直前の学級閉鎖により、学年毎の開催となりましたが、部活動の発表や学級合唱づくりに全員で挑戦する立派な富丘中生の姿がありました。

普段の教科の学習だけでなく、こうした仲間と協力して取り組む経験が、人間をより成長させてくれるのだと実感しているところです。

6月に開催した富丘中学校運営協議会では、登下校の見守り隊もされている委員の皆さんから、「富丘中の生徒さんはしっかり挨拶してくれてうれしい」との言葉を、先日来校された北海道教育大学の教授の方からも、生徒がしっかり授業に取り組んでいることについて評価いただきました。

今年度の全国学力・学習状況調査の質問紙調査でも、「自分にはよいところがあると思う」「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている」「人が困っている時は進んで助ける」「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」「人の役に立つ人間になりたい」と回答した生徒の割合が全国を大きく上回るなど、地域の誇れる中学生に成長していると、様子からも数値からも実感しているところです。

10月11日からは後期課程が始まります。3年生は卒業後の進路を定め、目標実現に向けて努力する時です。生徒会役員が入れ替わり、2年生が中心となって学校が動き出します。1年生は富丘中の一員としてしっかり成長しました。1・2年生がこの学校の伝統を継承し、新たな歴史をつくります。それぞれが、新たな挑戦をしてより成長していく大切な時期と捉え、教育目標である「未来を見つめ、より高さを志向する生徒」を実現できるよう、様々な教育活動の工夫改善に努めてまいります。

保護者や地域の皆様には、今後もこれまで同様に、本校の教育活動の充実のためにお力添えをいただきますようお願いいたします。

第48回文化祭を開催しました！

9月30日（金）、第48回富丘中学校文化祭が開催されました。学級閉鎖の影響により、1年生および2年生の合唱コンクールは延期、また保護者の皆様の参観も中止となりましたが、当日は「開会式」「6組・文化部による発表」「3年生合唱コンクール」を実施することができました。

昨年度の文化祭では合唱コンクールのみでの発表でしたが、今年度は6組や文化部（パソコン部、美術部、家庭部、吹奏楽部）の発表も実施することができ、これまでの取組を全校生徒に披露する機会とすることができました。また、生徒会役員企画による開会式では、運動部の生徒も一緒に取り組んだ素晴らしいオープニングが披露されました。すべての生徒が懸命に取り組んだ成果を、全校生徒で共有する時間となりました。

3年生は中学校生活最後の合唱コンクール。そして学級として取り組む集大成の行事でした。どの学級もこれまで培ってきた団結力を最大に出し切り、審査員の先生方を悩ませるほど大変素晴らしい合唱を聞かせていただきました。

今回実施できなかった「2年生合唱コンクール」は本日7日、「1年生合唱コンクール」は来週13日に実施となります。3年生の発表に負けないうらい素敵な合唱を期待しています。

